

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1、Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答案用紙に解答設問番号を明記し、答案用紙1枚にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 令和3年7月に静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し大規模な土石流災害が発生したことや、危険な盛土等に対して従来の法律では規制が必ずしも十分でないエリアが存在していたこと等を踏まえ、「宅地造成等規制法」が抜本的に改正され「宅地造成及び特定盛土等規制法」が令和5年5月に施行された。

本法において規制の対象とすべき区域について述べ、その区域における盛土等に伴う災害の防止に向けた措置について説明せよ。

Ⅱ-1-2 総合都市交通体系調査のうち都市交通実態調査について、全国の都市において実施されている代表的な手法を1つ挙げ、その概要を述べるとともに、近年の社会状況により生じつつある課題を複数の観点から説明せよ。

Ⅱ-1-3 都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画における都市機能誘導区域及び居住誘導区域について、それぞれ以下の内容を説明せよ。

- (1) 区域の設定の考え方
- (2) 土地利用の誘導の方法

Ⅱ-1-4 都市における良好な自然的環境を保全する特別緑地保全地区制度について、都市における風致を維持する風致地区制度と比較しつつ、緑地保全のしくみ、行為制限の方法など制度の特色を説明せよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙２枚を用いてまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 平野部中央を通る河川沿いに中心市街地が広がり，当該河川の上流部では中山間地が広がっている地方都市を対象に，主として水災害リスクをできる限り回避又は低減させるために必要な防災・減災対策を計画的に実施することを目的に，既に作成されている立地適正化計画を変更し，新たに防災指針の内容を追加することとなった。

そこで，当該防災指針案を作成する業務を担当責任者として進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 防災指針案を作成する際に，あらかじめ調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- (2) 上記の調査・検討に基づき，防災指針案を作成する業務手順を列挙して，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- (3) 効率的，効果的な業務遂行のために調整が必要となる関係者を列挙し，それぞれの関係者との連携・調整について述べよ。

Ⅱ－２－２ 地方都市のA市において，地域の活性化及びにぎわいのあるまちづくりを進めるため，都市の中心部に立地する老朽化が著しい公園（面積約1ha）の再整備を，飲食店等の収益施設，公園利用者の利便性の向上に資する広場，園路等の施設の整備を含めて，都市公園法に基づく公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して進めることとなった。

あなたが，本業務の担当責任者として，当該公園の公募設置管理制度を活用した再整備に際し，都市公園法に基づく設置許可に至るまでの必要な手続を進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 公募に必要な資料の作成に当たり，事前に調査，検討すべき事項とその内容を説明せよ。
- (2) 公募に必要な資料の作成に始まる都市公園法に基づく手続の手順を列挙し，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- (3) 業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し，答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅲ-1 平成27年に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され，市町村による空家等対策計画の策定や著しく保安上危険，衛生上有害等の状態にある等のいわゆる特定空家等の除却等の取組はより優先度の高い取組として進展しているが，全国の居住目的のない空き家は今後も増加が見込まれており，空き家対策のさらなる充実・強化が必要となっている。

有効活用されず適正な管理が行われていない空き家は周辺の環境に悪影響を与え，地域の価値や機能を低下させるおそれもあるため，地域の維持・活性化等を図るうえでも空き家対策はますます重要となっている。

このような状況を考慮して，以下の問いに答えよ。

- (1) 人口が減少傾向にあり今後も空き家の増加が見込まれる地方都市の中心市街地において，空き家対策をさらに充実・強化して実施するに当たり，技術者としての立場で多面的な観点から取り組むべき課題を3つ抽出し，それぞれの観点を明記したうえで，その課題の内容を示せ。
- (2) 前問（1）で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ，その課題に対する複数の解決策を，専門用語を交えて示せ。
- (3) 前問（2）で示した解決策に関連して新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について，専門技術を踏まえた考えを示せ。

Ⅲ－２ 豪雨による河川氾濫で浸水被害を近年経験し、ゼロカーボンシティ宣言を行い、市民参画で地球温暖化対策を本格展開しようとする大都市近郊の都市がある。この都市において、地球温暖化対策推進の観点から、都市緑地法に基づく緑の基本計画を改定することとなった。

本業務を担当する技術者としての立場で、以下の問いに答えよ。

- (1) 緑の基本計画において、“カーボンニュートラル及びWell-beingを実現する都市”を目標とする都市像として掲げ、その達成に向け、取り組むべき課題を整理することとした。地球温暖化対策として都市の緑が果たしうる役割を踏まえ、多面的な観点から課題を3つに整理し、それぞれの観点を明記したうえで、課題の内容を説明せよ。
- (2) 前問(1)で整理した3つの課題のうち、目標を達成するためにあなたが最も重要と考える課題をその理由とともに挙げ、その課題に対する解決策を複数示し、専門用語を交えて具体的に説明せよ。
- (3) 前問(2)で示した解決策に関連して新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。